

おのきんいち  
小野 欽市

しみんくらぶ  
市民クラブ

倉田 寛次 山崎 正行  
小野 欽市 川口 和雄  
辻 美津子 村田 彰久

議案質疑

議案第50号 平成22年度津市一般会計予算

1 歳入 市税について

- (1) 個人市民税・法人市民税・固定資産税合わせて約25億円の減額計上の実態をどのように考えるか
- (2) 企業誘致関連経費の減額との関係は

2 歳入 繰入金 基金繰入金

- (1) 基金残高が平成22年度末に21年度末と比較して約60億円減になる。特に財政調整基金はもっとも恐れられている状況に近づく。状況の好転は望めるのか

3 歳出 衛生費 予防費 健康診査事業から

- (1) がん対策の入り口の整備は整いつつあるが、万が一がんになった時の高度医療が受けられる人と受けられない人の差を埋める対応についてはどう考えるか

**問** がん治療時の高度医療を受けられる格差対策は

**答** 治療費が自己負担となる医療保険適用外の最新医療については、助成制度の対象者、内容、方法など課題が多い。減免制度も含め今後調査研究していきたい。

4 歳出 商工費 商工業振興費 中心市街地テナントサポート事業調査業務委託料ならびに中心市街地活性化チャレンジショップ事業委託料について

- (1) この事業が、行政が課題を整理して行う事業であるとすれば、

その認識はどのようなものか

- (2) 津市の津商工会議所との連携は考えていないのか

5 歳出 商工費 観光費 ふるさと雇用再生特別基金事業 観光地巡回バス運行について

- (1) 観光地巡回をどのように活かすのか、また、なぜ無料運行なのか理解に苦しむ

6 歳出 商工費 観光費 観光旅行商品開発事業について

- (1) 事業の目的は何か

7 歳出 土木費 都市計画総務費 コミュニティバス運行委託料について

- (1) 地域での説明会等で十分な住民への周知が図られたのか、あるいは運行前から懸念があることへの対応をどのようにするのか。また、名張・伊賀・津広域観光連携事業にあるような意気込みがあれば美杉地域での不安解消はすぐにでも対応ができると思うが認識はいかがか

8 歳出 土木費 都市計画総務費 新都心軸連携計画等策定業務にかかわって

- (1) 一昨年都市計画3法の改正によって従来からのインター周辺の商業中心の開発は抑制され、本市の津インターから賢崎に至るいわゆる「新都心軸」の新たな展開は変わらざるをえない状況にある。このような状況の中で、その連携の基礎になる考え方とはなにか

一般質問

1 市長所信表明から

- (1) 「子ども医療費助成」制度の創設は素晴らしいことであるが、その支払いは窓口での一時立て替えか、行政が医療機関へ直接支払いをするのか
- (2) 「公共事業の予算確保をして継続的な発注を計画的に行う」おおいに結構。しかし、今回の災害のような場合、地域の個々具体の特殊事情を考慮し、適切・迅速な事業展開を望む
- (3) 地域主権型社会の構築を目指すのは結構。しかし、今のこの分権型社会実現の陰には国家公務員大幅削減といいながら、地方への国家公務員押しつけの思想があるように危惧する。今2,500人体制を目指す本市としてこの点は看過できないと思う。認識はいかがか

2 教育長の抱負より

- (1) 基礎基本の定着にむけて、今、何が必要か
- (2) 義務教育期間における子どもたちと、高等学校の生徒の違いは

3 教育方針より

- (1) 幼児教育の基礎を補うための幼稚園教諭への支援がなぜ必要なのか
- (2) 「授業づくり講座」の効果はいかに
- (3) 全国学力テストへの対応はいかに

▶学力がしっかりと身につくような体制づくりを

